

「One for All All for One」みなさん、この言葉を聞いたことがありますか？古くヨーロッパで生まれたといわれるこの言葉。

日本では「1人はみんなのために、みんなは1人のために」と訳され、ラグビー界をはじめ、様々なチームや集団で起用されるようになった。学校でも、学級目標にしているクラスがある。

人は一人では生きていけない。この言葉のように、互いに助け合うことができれば、いや、助け合うことができるから、社会は成り立っている。多くの素直な人たちは、この考えに賛同する。私もその一人にすぎない。

しかし、中には、「なぜ助け合わなければならぬのか」と疑問に思う人がいてもおかしくない。例えば、自分の力に大きな自信がある人は、人の助けを借りなくても自分だけでやっていけると思うかもしれない。反対に、自分に自信のない人は、助けてもらってばかりで、自分が集団の役に立つなんてとてもできそうにない、と考えるかもしれない。

そんなことに思いを巡らせながら、私はこの言葉について調べてみた。すると、大きな発見があった。

なんと、本来の意味は「1人はみんなのために、みんなは1つの目的のために」だという。

ほんの少しの訳され方の違いで、大きく意味が変わる。

「集団」というのは、“ただの集まり”ではなく、“同じ目的を持ったチーム”なのだ。そうであるならば、「同じ目的」のために「みんな=集団」が存在し、そこに属する「1人」は、その目的を抱えた「みんな=集団」のために存在する必要がある。

「野村中学校」という集団は、今、「自分を大切に、相手を大切に、集団を大切にする」という目的をもって存在している。

最後に、私自身はというと、「この愛着ある野村中学校で働いている自分を大切に、授業や登下校時に触れ合う生徒のみなさんことを大切に、一緒に素敵な学校を作りたいと同じ目的に向かって切磋琢磨している先生方を大切に…一言で言うと、この野村中学校のことがとても大切！！」という気持ちで、日々感謝しながら、自分がそのためにできること、しなければならないことを探し続けています。

学級、部活動、習い事…あなたが所属している集団は、どんな目的をもっているだろう。考えてみてほしい。その目的のために自分が果たしている役割は何かということを。

(※この文章でいう「目的」は「目標」と解釈してもらってかまいません)